

TOTO

TOTO株式会社

身体状況や性別、国籍などを超えてみんなが快適に暮らせる社会のために
TOTOはトイレなどの水まわりからユニバーサルデザインに配慮した商品・空間づくりに挑戦し続けています。

だれもが使いやすいトイレのご提案

2-3 男女共用トイレの利用意向

項目	男女共用トイレ	男女別トイレ	男女別トイレ
トランスジェンダー	23.5%	23.1%	18.8%
MSM	17.7%	17.2%	14.9%
MS	14.5%	13.4%	14.9%
FTM	12.4%	12.4%	14.9%
FSM	11.4%	11.4%	14.9%
その他	11.4%	11.4%	14.9%

性的マイノリティにも
配慮したトイレ提案に
関する情報



トランスジェンダーの中には外出先のパブリックトイレの利用に悩みを抱えている人がいます。多様なセクシュアリティの方を含めすべての人が安心して使えるトイレづくりの配慮ポイントやプランなどを、パンフレット配布や建築の専門家を対象としたセミナー開催を通じて提案しています。WEBサイトにもトイレ利用に関するアンケートやインタビュー記事などを公開しています。

LGBTQ への理解を広げる ALLY 活動



ALLY シール



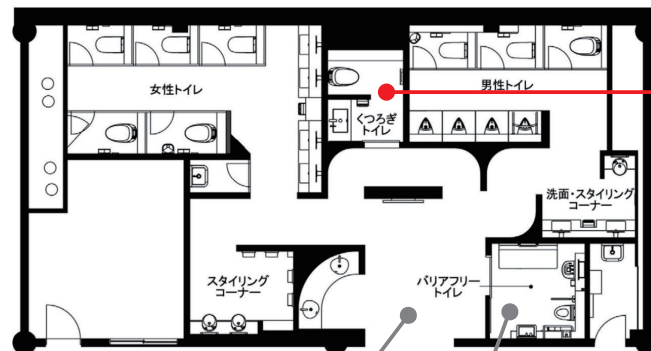
work with Pride



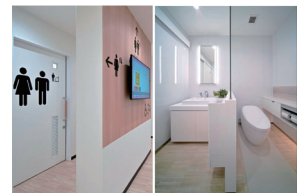
「TOTOグループで働く全員へLGBTQに対する理解を深めるために、研修やe-ラーニングによる教育を実施。

また、「九州レインボープライド」への協賛やパレードなどイベントに参加。ALLYの見える化や勉強会などを行っています。また「渋谷区しぶやレインボー宣言」に賛同して渋谷区内の事務所に宣言POPを設置するなど、差別や偏見のない社会づくりを目指して取組んでいます。

ダイバーシティを尊重した職場づくり



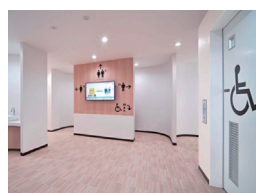
くつろぎトイレ



性別を問わずだれでも利用できる
「くつろぎトイレ」

TOTO創立の地である北九州・小倉にある小倉第一工場。TOTOグループのものづくりの原点となるマザー工場に、パブリックトイレのモデルケースとなるトイレ空間を新設しました。その他の国内事業所でも、だれもが利用しやすいトイレを目指し、トイレサインの見直しや改修を都度行っています。

トイレエントランス



バリアフリートイレ



TOTO 小倉第一工場
トイレ改修の詳細